

意見書

第2回定例会において、意見書2件が議員提案され、全会一致で可決されました。この意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、実現されるよう要望しました。

「30人以下学級」の実現を柱とする新たな定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現を求める意見書



市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。9月の定例会の一般質問は9月11日(木)、12日(金)の予定です。

豊前市のホームページに、豊前市議会を掲載しています。
 内容 議会について
 議員名簿
 議会日程
 議会だよりなど

編集委員
 委員長 中村 勇 希
 副委員長 村田 喜代子
 委員 宮田 精一
 委員 丸田 裕和
 委員 古川 哲也



「宜野湾市人材育成交流センター「めぶき」」

文教厚生委員会視察報告

文教厚生委員会は、7月14日から15日にかけて沖縄県宜野湾市の人材育成センター「めぶき」を訪問した。同市では「めぶき」を拠点に、多様な人材交流、国際児等の育成、男女共同参画の推進、女性に関する諸問題の学習、女性の地位向上、国際交流事業の推進など、幅広く取りくみを行っている。

「めぶき」の由来は新芽が萌え(芽吹き)成長していくように、この場所から、すばらしい人材が育っていくことを願い、市民公募により命名されたとの事。

担当者から市の概要について説明を受けた。全市域の約33%が米軍基地で占められている同市だが、県の南北への交通機関が良いことから、ベッドタウンとして人口が増加しており、近隣に公私合わせて4大学があり、65歳未満の人口構成比が88.9%と非常に活気のある若い市である印象を受けた。

しかし、米軍基地の約93%は民有地で、返還問題で補償、環境、文化財保護等解決しなければならない多くの問題も山積みしている。

続いて、市内7団体、約1500人が同じ目的で集結した「女団協(女性団体連絡協議会)」の取り組みについて説明を受けた。

最後に、施設の説明を受けたが1階にはアメリカ人男性とアジア人女性間の子供達の学校通学支援、英語教育等のための「アメラジアンスクール」が設置されていた。施設は、沖縄米軍基地所在地市町村活性化特別事業費補助金等により、9割補助を受けていた。本市も男女共同参画社会づくりに向けて、本格的なスタートを切ったが、宜野湾市に負けぬよう積極的な人権問題施策の推進を図り、明るい社会の実現に努めなければと痛感した。

9月の議会の日程表(予定)

5日(金)	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明
6~10日	休会	議案審査日
11日(木)	一般質問	
12日(金)	一般質問	
16日(火)	常任委員会	
17日(水)	常任委員会	
18日(木)	常任委員会	
19日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決
22日(月)	本会議	予備日

編集後記

みなさん今日は！暑い日が続いています。今は夏真っ盛りですが、この日本には四季があり、季節は巡ります。現在の地方自治の季節は冬であります。この厳しい冬を乗り越えなければ春は来ません。国も地方自治体に安定した財源を送り続ける余裕がなく、補助金や地方交付税は縮減に向かっていきます。これからの地方自治は分権が進むにつれて自己決定力・自己責任力が必要となってくる。そのために自治を強化することが肝要であり、地方議会は大きな役割を果たすべく地方政府として市民の期待に応えなければなりません。毎定例議会では様々な議論がくりひろげられております。この市議会だよりには、ほんの一部しか載せられませんが、市民の皆さんの議会への関心を高めていただければ幸いです。最後まで読んでいただき感謝するとともに、市議会だよりを読んだ感想等も議会事務局にお寄せください。(中村勇希)